

授業科目 小児看護学

【担当教員名】 岩田みどり	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1単位	時間数	15時間

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

本科目では、子どもの健康や社会における現状を学び、子どもの権利や保健対策の関連する法規を理解する。さまざまな場における子どもと家族の状況を判断し、小児看護学の基本的知識・技術・態度について身につける。学生は、小児看護学における看護師の役割や「子どもの特性を理解し成長・発達を阻害する因子を可能な限り取り除くことによって成熟する過程をサポートすること」について考察する。

【<学習目標>又は<行動目標：SE】

- 1) 子どもの成長発達について身体的特徴・精神的特徴・社会的特徴を説明できる。
- 2) 子どもの権利や保健対策に関連する法規について説明でき、子どもの権利を尊重することについて考える。
- 3) 子どもの免疫の特徴や予防接種について説明できる。
- 4) 入院中の小児看護学の特徴について説明できる。
- 5) 外来での小児看護学の特徴について説明できる。
- 6) 在宅での小児看護学の特徴について説明できる。
- 7) 子どもの疾病予防・健康増進へのサポートについて説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	1) 子どもの成長発達について説明する。①身体的特徴②精神的特徴③社会的特徴	1	講義
2	2) 子どもの現状と、子どもの権利や保健対策に関連する法規の理解と具体的内容について説明する。	2	講義
3	3) 子どもの免疫の特徴や予防接種（予防接種法含む）について説明する。	3	講義
4	4) 入院中の小児看護学について説明する。①入院の種類②子どもの反応③家族の反応④入院中の子どもの安全について⑤臨床の看護師の役割	4	講義
5	5) 外来での小児看護学について説明する。①外来の種類と対象②外来での子どもの看護③検査を受ける子どもへのプリバレーション④外来の看護師の役割	5	講義
6	6) 在宅での小児看護学について説明する。①在宅の子どもと家族の状況②在宅看護における子どもに対する社会資源③在宅看護での小児看護師の役割	6	講義
7	7) 子どもの疾病予防・健康増進に対するパンフレットの作成。また、子どもの成長発達を阻害する因子を可能な限り取り除き、子どもの権利を尊重した小児看護学について、自分の考えをレポートする。	7	個人課題レポート

【使用図書】

<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格・その他>

教科書 (必ず購入する書籍)	系看護 専門22 小児看護学I、医学書院
参考書	小児看護学—子どもと家族の示す行動への判断とケア 筒井 真優美 日総研 2006年 ナーシンググラフィカ 小児看護学/小児の発達と看護、メディカ出版、3,600円
その他の資料	授業で紹介
【評価方法】 筆記試験50%+個人課題レポート40% +出席10%	【履修上の留意点】